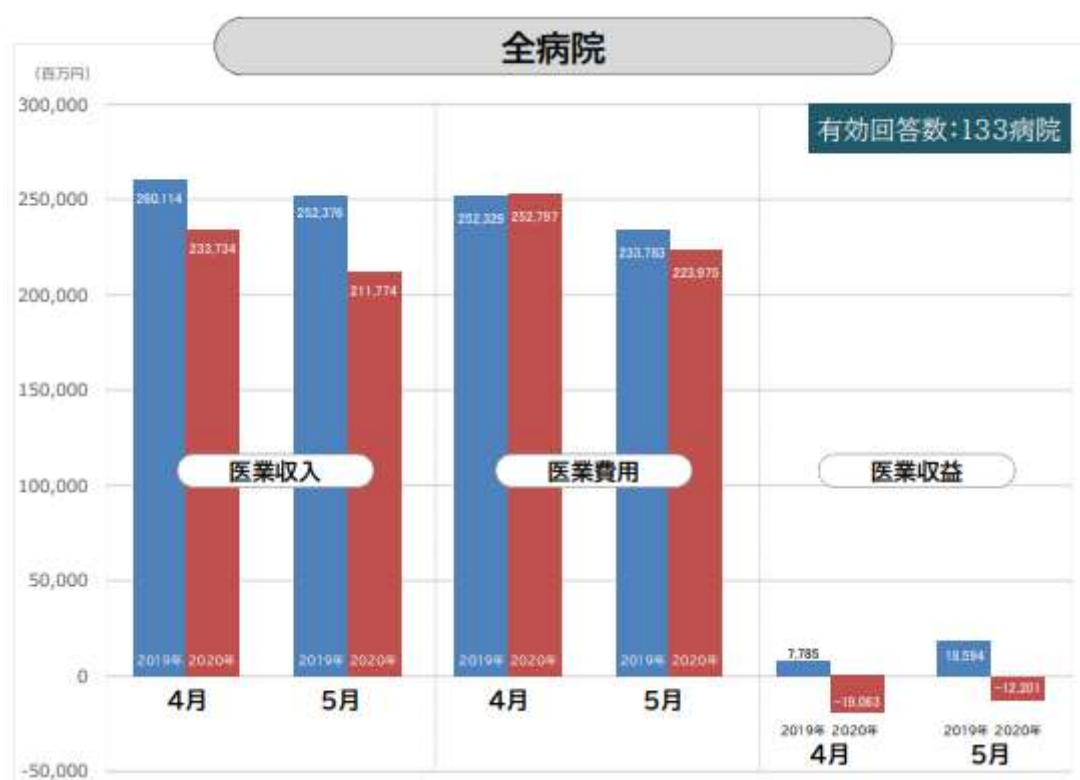


「133 大学病院の赤字 313 億円 外来・入院患者数減少や空床増加で」

新型コロナウイルス感染症による病院経営の悪化は深刻で、全国 133 の大学病院は4、5月の2カ月で合計 313 億円の赤字となっている、と全国医学部長病院長会議が 20 日発表した。夏季賞与を減額した大学病院も 6 ある。全国医学部長病院長会議は、今後予定されている政府の緊急包括支援金の 2 次補正分が大学病院の機能回復・維持にも十分活かされることを強く要望している。

新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う前年度との経営比較

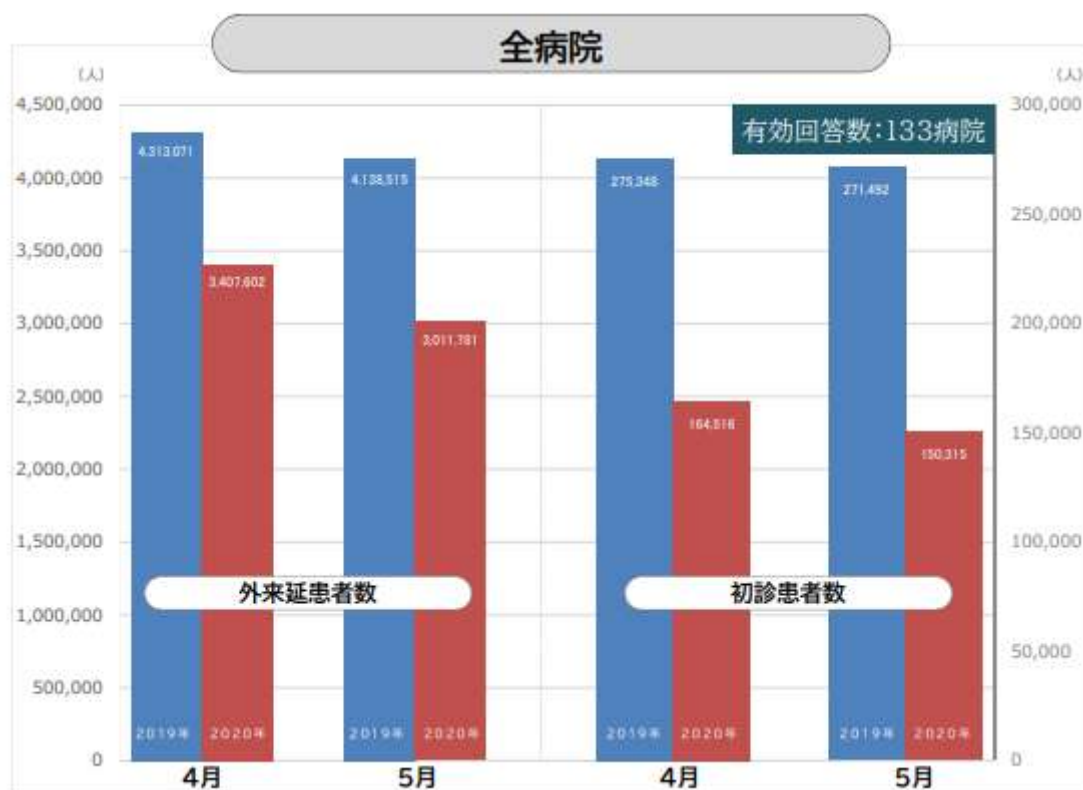


(全国医学部長病院長会議調査結果から)

国立大学 43 大学 (防衛医科大学校を含む)、公立大学 8 大学、私立大学 31 大学で構成する全国医学部長病院長会議の調査は、分院を含む国立大学 43 病院、公立大学 8 病院、私立大学 85 病院の計 136 病院を対象に実施された。患者数や収支状況については 5 月末現在、その他の対応状況については 6 月時点での実態を調べている。この結果、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れたのは 78 病院 (有効回答数の 92.9%)、帰国者・接触者外来を設置したのは 34 病院 (同 40.5%)、新型コロナウイルス感染症患者重点医療機関となったのが 18 病院 (同 21.4%) と、ほぼすべての大学病院が患者を受け入れていたことが分かった。受け入れた患者の総数は 7 月 17 日時点で 2,537 人に上る。

経営悪化の主たる原因となったのは、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴って外来患者と入院患者の数がそろって減少したこと。外来患者は4月が前年に比べ21%減となり、5月はさらに減って前年比27%減となった。特に初診患者数の減少が著しい。入院患者数は、4月が前年に比べ14%減で、5月は入院患者同様さらに減って、前年比20%減となった。特に新入院患者の減少が著しく5月は前年より30%減っている。

新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う前年度との経営比較（外来患者数）

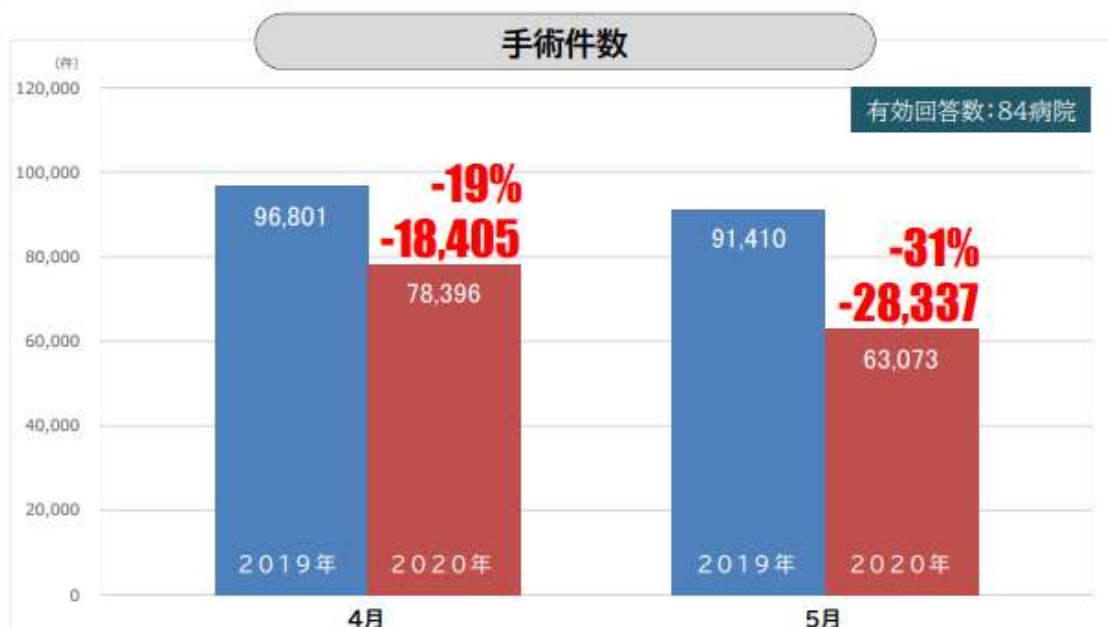
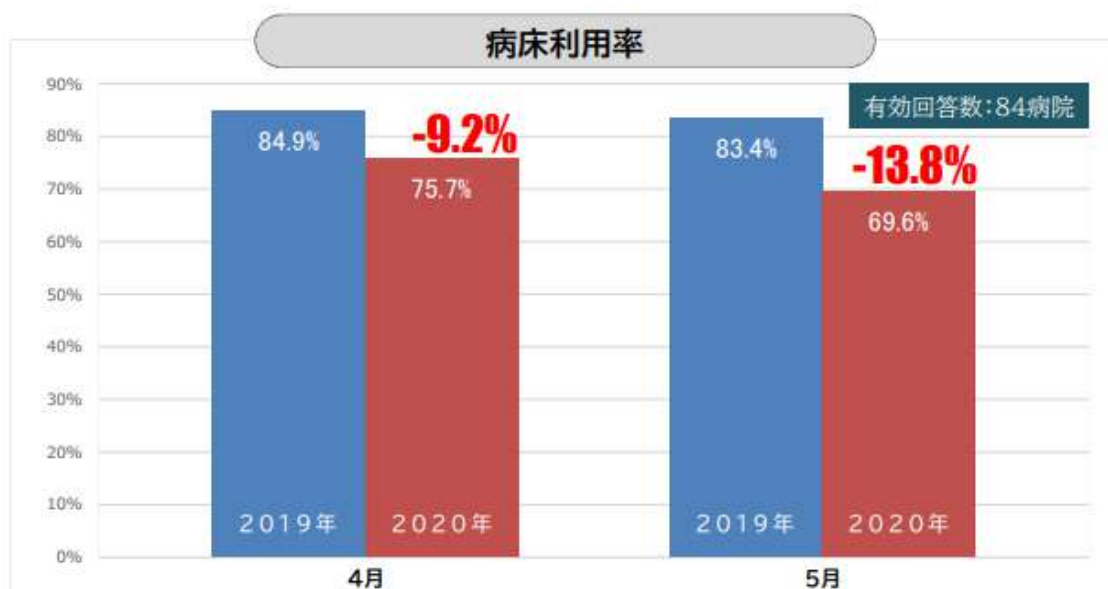


新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う前年度との経営比較（入院患者数）



(全国医学部長病院長会議調査結果から)

新型コロナウイルス感染症患者の受け入れは、病床利用率と手術件数の減少という結果も招いている。病床利用率は4月で前年に比べ9.2%、5月は13.8%それぞれ低下した。5月の利用率がさらに低下したのは、空床数が4月より63%も増えた結果で、これは4月に比べると5月の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ数が減ったため、患者受け入れに備えて確保していた病床が空床となったためとみられる。手術件数も4月は、前年に比べ19%減、5月はさらに減って前年比31%減となった。



(全国医学部長病院長会議調査結果から)

こうした結果は、病院経営を苦しめており、4月の医業収入は前年に比べ10.1%減、5月は16.1%減となった。もともと日本の病院は医業利益率が低く、前年4月は3.0%だったが、今年4月は医業利益率でマイナス8.2%、金額にして190億6,000万円の赤字となった。5月は医業利益率でマイナス5.8%、金額で122億円の赤字。赤字額は4、5月合わせて約313億円となった。

新型コロナウイルスが病院経営に深刻な影響をもたらしていることは、全日本病院協会の猪口雄二会長も5月27日に日本記者クラブで記者会見し、日本病院会、日本医療法人

協会との共同緊急調査結果を公表している。共同緊急調査は、5月7日～5月21日に3団体に加盟する4,332の病院にメールで調査票を送り、1,307病院から回答を得ている。4月の利益を見ると、新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れていない864病院の医療利益は平均1,375万円の赤字、入院を受け入れている339病院は平均9,617万円の赤字、一時的に病棟を閉鎖せざるを得なかった180病院は平均1億1,557万円の赤字となっている。全病院平均でみると3,698万円の赤字となる。

今回公表された全国医学部長病院長会議の調査結果から単純に赤字の平均値を出すと1大学病院で2億円を超す。日本全国の病院の中で、特に大学病院の経営に新型コロナウイルスが大きな打撃を与えていることがうかがえる。

全国医学部長病院長会議は、4月、5月の大幅な収益減が各都道府県からの要請に応え、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるための病床確保や、院内感染の防止策などの対策を講じてきた結果だとしている。大学病院が通常の高度な診療に加え、新型コロナウイルス感染重症症例の多くの治療を担っている現状を指摘し、「日本の医療レベルを維持するためにも、政府の第2次補正予算に基づく各都道府県からの財政支援が大学病院の機能回復・維持にも十分活かされることを強く要望する」と訴えている。

日文 小岩井忠道 (JST 客観日本編集部)

関連サイト

全国医学部長病院長会議ホームページ

<https://ajmc.jp/>